

2025 認知神経リハビリテーション・アドバンスコース（運動器疾患・対面）／プログラム

開催日：2025年6月22日（日）

会場：岡山市勤労者福祉センター（大会議室）

08:40-09:00 受付

09:00-09:10 オープニング（オリエンテーション、コースの位置付け、プログラム構成など）

09:10-9:40 講義①運動器疾患と認知神経リハビリテーション（小川昌）

キーワード：運動器の神経学的解釈／情報器官／認知神経リハビリテーション

目標：運動器疾患に対する認知神経学的な視点を確認し、実践に向けた基本的事項を理解する

9:40-10:30 講義②運動器疾患の回復と学習（園田義顕）

キーワード：器質的障害と機能的障害／自然回復と学習による回復／行為の学習メカニズム

目標：運動器疾患に伴う症状を「学習を阻害する因子」として捉え、脳-身体-環境の相互作用を適正化するための学習メカニズムに沿った介入（予測・比較・検証）戦略とは何かを理解する

10:40-11:30 講義③運動器疾患における痛みの捉え方、考え方（江草典政）

キーワード：体験としての痛み／情報の整合性／身体性

目標：国際疼痛学会に準拠した近年の痛みの定義を理解するとともに、運動器の傷みに対して認知神経リハビリテーションが対応できることについて理解を深める

11:30-11:50 講義④行為と痛みと言語（大島埴生）

キーワード：身体性／疼痛と痛み／身体の声聞く

目標：痛みを苦痛を伴う主観的体験として理解し、対話による痛みおよび行為の変質を捉える

11:50-12:10 前半の講義のまとめ・質疑応答（講師全員）

13:00-14:20 講義⑤／演習①運動器疾患に対する観察－評価から病態解釈（奥埜博之・矢野恵夢）

キーワード：観察の視点（外部・内部観察）／システムアプローチ／病態解釈

目標：運動器疾患の特異的病理を理解し、機能・疼痛について病態を把握するための観察の手法を学ぶ

14:30-15:50 講義⑥／演習②運動器疾患に対する課題の構築－訓練の実際（山形繁広・新田麻美）

キーワード：プロフィール／難易度設定／教育的視点

目標：機能・疼痛についての病態解釈に基づいた介入手法を理解し、臨床展開について学ぶ

16:00-16:30 講義⑦肩関節周囲炎に対する認知神経リハビリテーションの実践（奥埜博之）

キーワード：プロフィール作成／病態解釈／課題の構築

目標：肩関節周囲炎（肩関節疾患）について、認知神経理論に基づいた臨床展開を具体的に学ぶ

16:30-17:00 講義⑧変形性膝関節症に対する認知神経リハビリテーションの実践（山形繁広）

キーワード：プロフィール作成／病態解釈／課題の構築

目標：変形性膝関節症（膝関節疾患）について、認知神経理論に基づいた臨床展開を具体的に学ぶ

17:00-17:30 講義⑨難治性疼痛に対する認知神経リハビリテーションの実践（矢野恵夢・新田麻美）

キーワード：プロフィール作成／病態解釈／課題の構築

目標：CRPSをはじめとする難治性について、認知神経理論に基づいた臨床展開を具体的に学ぶ

17:30-17:45 運動器疾患への認知神経リハビリテーション介入の可能性について語る（講師全員）

17:45-18:00 質疑応答・エンディング（入会案内、地域勉強会、学会事業について）